

KANO  
TETSURO

# ABSTRACT MAPS CONCRETE TERRITORIES







あいまいな地図、明確なテリトリー

METAPHOR

PEAKS 類

# STRUCTURES

クチャ

2013年7月26日(金) - 8月25日(日) 会期中無休  
 開催時間：9:30 - 17:00 \*7/27は花火大会のため16時まで(雨天の場合は翌日に順延)  
 会場：モエレ沼公園ガラスのピラミッドおよび周辺屋外(北海道札幌市東区モエレ沼公園1-1)  
 入場料金：無料  
 主催：公益財団法人札幌市公園緑化協会  
 後援：札幌市、札幌市教育委員会、北海道、北海道教育委員会  
 協賛：大塚食品株式会社、AGC硝子建材株式会社  
 協力：札幌市円山動物園、、、、、、

モエレ沼公園  
MOERENUMA PARK

# ABSTRACT MAPS, CONCRETE TERRITORIES

## あいまいな地図、明確なテリトリー



私たちの暮らすこの世界を把握するための地図は、この世界そのものではありません。家やビル、道、川、岬、山などを標識として図に描きあらわされた地図は、人々が混乱せずこの世界を歩いて行くための認識のツールです。

では、動物たち——たとえば鳥は、どのように世界を把握しているのでしょうか？

狩野哲郎は、これまで、植物の発芽を見守るインスタレーションや、鳥や果実などの人間が制御することの出来ないものと既製品である園芸用品や鳥よけを展示空間に構成したインスタレーションなど、様々な手法で作品世界を生み出してきました。

本展で展開されるのは、既製品を組み合わせた卓上の／草上の／空中の／鳥のための／世界に存在するあらゆるなにかのための——ランドスケープです。それは人間から見ると大きな鳥かごのようでもあるし、一方、鳥から見るとひとつの都市とも捉えられるでしょう。狩野が投げかける曖昧でいくつもの視点を内包する世界は、鳥という他者に意識を傾けることで、これまで認識することのなかった新たな知覚が存在することを示します。

本展はガラスのピラミッド開館10周年を記念して開催するものです。モエレ沼公園の可能性を切り拓く、新しい試みをどうぞご覧ください。

### 関連プログラム

#### 1. トークプログラム

対談「動物たちの見えない地図」

出演：狩野哲郎(本展出品作家)・本田直也(札幌市円山動物園飼育員・鷹匠)

日時：8月4日(日)14:00-15:45

会場：ガラスのピラミッド1Fスペース1、2Fスペース2

定員：80名、参加無料、要予約

#### 2. 週末ミニコンサート——鳥をめぐるクラシック音楽から

出演：アウリス・マンドリン・アンサンブル

日時：8月17日(土)1回目14:00/2回目16:30(各回30分)

会場：ガラスのピラミッド1Fアトリウム1

参加無料、当日会場へ

### 同時開催

札幌市街に位置する2つのカフェ、ギャラリーでも狩野哲郎展が開催されます。

会場ごとに異なるコンセプトの作品がご覧いただけます。あわせて足をお運びください。

#### 「SAVAGE STRUCTURES／野生のストラクチャ」

会期：2013年7月27日(土)～8月24日(土)

時間：14:00-22:00 休廊日：日曜日、月曜日

会場：salon cojica

札幌市中央区北3条東2丁目中西ビル1F TEL:011-522-7660 www.salon-cojica.com

アクセス：地下鉄東西線バスセンター駅3番出口から徒歩10分／札幌駅から徒歩7分／大通駅から徒歩15分

主催・企画：salon cojica 協力：公益財団法人札幌市公園緑化協会

#### FabULOUS WALL「METAPHYSICAL PEAKS／類推の峰、峰」

会期：2013年7月11日(木)～8月11日(日)

時間：11:00-23:30(最終日は21:00まで)

定休日：なし(パーティー等で貸切となる場合があります)

会場：FabULOUS

札幌市中央区南1条東2丁目3-1 NKCビル1F TEL:011-271-0310 www.rounduptrading.com

アクセス：地下鉄東西線バスセンター駅3番出口から徒歩1分・大通駅34番出口から徒歩5分

主催：FabULOUS 企画：RAWPLAN 協力：公益財団法人札幌市公園緑化協会

\*2つの会場からモエレ沼公園へは、バス停「バスセンター」とバス停「モエレ沼公園」を往復する

北海道中央バスの期間限定バス「東6モエレ沼公園」行が便利です。

### お問い合わせ・ご予約

#### モエレ沼公園

〒007-0011 北海道札幌市東区モエレ沼公園1-1

TEL:011-790-1231 FAX:011-792-2595

http://www.sapporo-park.or.jp/moere/ \* facebook、Twitterでも情報更新中！

イサム・ノグチはモエレ山を可視化した。

地図を、現地を書き換えた。

あの山はここがmoireと名付けられた頃には見えなかった。

地図には存在しない類推の、形而上の、不確定な山だった。

透明な山も現地には存在していて、明確に誰かのテリトリーだった。

いつだって純粋な地図が必要だ。

さもくば、木木も岬も見えないはまだ。

誰かが海に出てそれを呼ぶまで私たちは岬を知らなかった。

鳥は先天的な方向感覚で魔術的な道を知るといふ。

夕暮れ時にモエレ山の頂上からガラスのピラミッドの方を眺めると、

無名の鳥たちが山頂、峰、峰をかすめて沼へと向かう。

回廊を、庭をめぐるように標識をたどる。

野生の地図にこの山は記述されているだろうか。

一枚で複数に読まれる地図があることを想像する。

自然のプランはいつだってはかなく不変かつ抽象的な具体物なのだから、

あたらしい地図はすこし曖昧なくらいが呼吸するように美しい。

モエレ山について——狩野哲郎

### 狩野哲郎 KANO Tetsuro

1980年宮城県生まれ。東京都在住。

東京造形大学造形学部デザイン学科(環境デザイン都市環境コース)卒業、同大学院造形研究科(美術研究領域修士課程絵画コース)修了。狩猟免許(わな・網猟)取得。鳥や植物、果実といった自然物や拾得物、既製品等の広義のファウンドオブジェクトとさまざまな素材を組み合わせ作品を制作。近年「SEOKSU ART PROJECT」(2010、韓国)、「NEO-TOPIA」(2010、秋吉台国際芸術村、山口)、「吃驚 BIKKURI」(2010、国際芸術センター青森)、「純粋な標識／Clear signs, Vivid tones」(2012、ハラミュージアムアーク、群馬)など数多くのレジデンスや滞在制作型のプロジェクトに参加。主な個展に「自然の設計／Naturplan」(2011、ブルームバーグ・パヴィリオン・プロジェクト、東京都現代美術館)、「一本で複数の木／Protean wood」(2012、YUKA TSURUNO、東京)、グループ展に「呼吸する環礁——モルディブ・日本現代美術展」(2012、モルディブ国立美術館)、「庭をめぐれば」(2012、ヴァンジ彫刻庭園美術館、静岡)などがある。

www.tkano.com/



【アクセス】

地下鉄東豊線「環状通駅」から北海道中央バス「東69番あいの里教育大駅前行」か「東79番中沼小学校通行」に乗り後、所要時間約20分でバス停「モエレ公園東口」。またバス停「バスセンター」、「JR苗穂駅」、「麻生駅」他、市内各所から「モエレ沼公園行」の期間限定バスが運行。